



品川コミュニティ・スクールとは

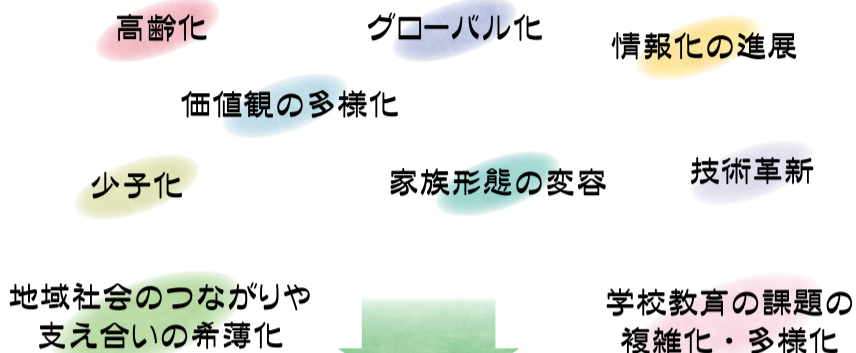
これからの世の中を生き抜く力を育てるために、地域と学校をつなげる仕組みです。学校・地域・保護者が連携・協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進めています。

品川区では、地域の方々に学校運営に参画していただく「校区教育協働委員会」と教育活動を支援する「学校支援地域本部」の二つを設置している区立学校を指します。（品川区内のすべての公立学校で設置が完了しています。）



今なぜ そのような仕組みが必要なの？

子どもたちを取り巻く状況が大きく変化してきています。



Q これまでの学校のままでこれからの予測困難な社会を生き抜く子どもたちを育てられるの？



子どもたちの健やかで豊かな成長のためには、学校・家庭・地域が連携・協働し「社会総掛かり」で取組を進める仕組みが不可欠！



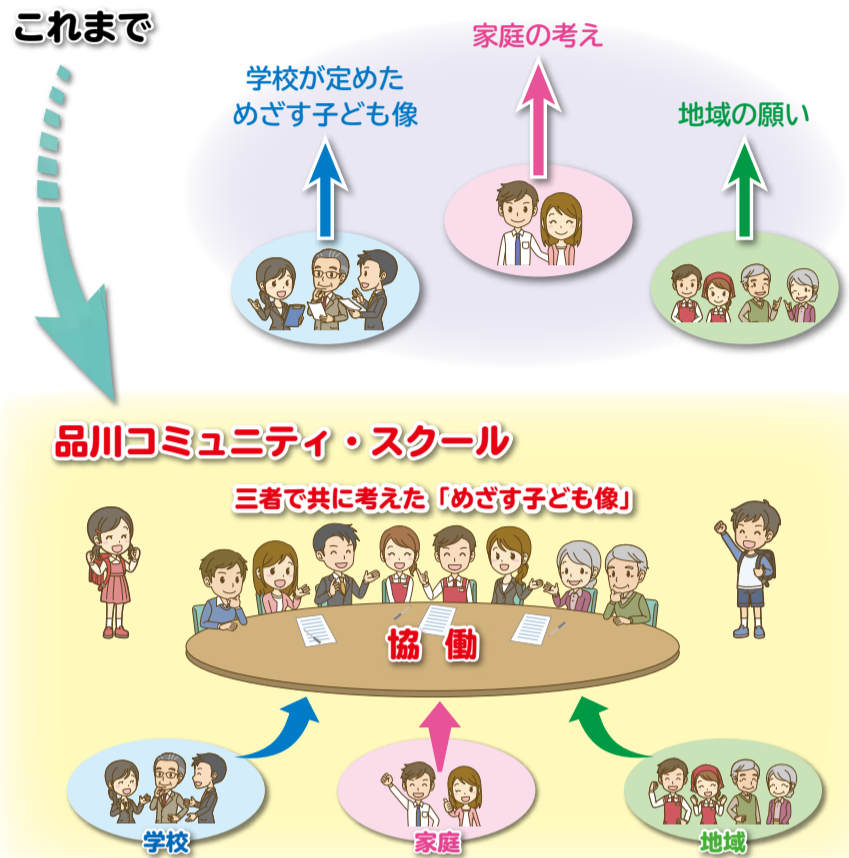
品川コミュニティ・スクールの目指すもの

次代を生き抜く子どもたちの育成のために、地域とともにある学校づくりを進め、学校も元気に、地域も元気になることを目指しています。



品川コミュニティ・スクールの導入で何が変わるの？

保護者、地域住民、卒業生など様々な人たちが「校区教育協働委員会」の委員として、学校とともに「学校」や「地域」の課題を共有し、共通の目標・ビジョンをもって一体となって子どもたちを育みます。子どもの豊かな育ちを確保するとともに、そこに関わる大人たちの成長も促し、ひいては地域の絆を強め、地域づくりの担い手を育てていくことにつながります。



組織・役割

学校運営に参画する 校区教育協働委員会

保護者や地域の方々が委員となり、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという目標・ビジョンを共有します。「学校運営の基本方針の承認」「教育活動の評価」「区費教職員等の活用への意見」「学校支援活動の企画・調整」の4つの役割を有しています。



地域と学校をつなぐ 学校地域コーディネーター

学校で行われる教育活動の充実に向けて、学校支援のコーディネートを行います。学校地域コーディネーターは学校と地域をつなぐパイプ役です。

◆アシスタントコーディネーターの配置
学校支援地域本部の組織的な運営、学校支援活動のさらなる充実を図るため、アシスタントコーディネーターを配置しています。

学校支援を行う 学校支援地域本部

学校地域コーディネーターや学校支援ボランティア等で構成され、地域の方々の協力を得ながら、学校教育の充実を図っています。



地域の方々によるあいさつ運動



子どもたちの笑顔に、元気をもらっています。

朝運動



朝早く登校している児童を遊ばせてあげるために地域の仲間と学校に提案しました。朝から元気に遊ぶ子どもの姿を見られて嬉しいです。

地域未来塾の実施(学習支援活動)



卒業した学校や後輩の力になればうれしいです。

授業補助や外部講師との連絡調整(授業支援)



みんな地域の子。子どもたちの成長を見られて嬉しいです。

掲示や花壇など環境整備支援活動



教員だけでは手が回らないことをお手伝いいただき、とても助かっています。

町たんけん、職場体験、ドリムジョブなど(地域学習・キャリア学習)



商店街には色々なお店があることを知っていただければ嬉しいです。今度はおうちの人と歩いてみてください。